

◎ 平成30年 第2・3回東京競馬の馬場概要 (平成30年4月13日現在)

芝コース

(1) 使用コース

開催日	コース	1周距離	直線距離	幅員	備考
2回 前6日	A	2,083.1m	525.9m	31~41m	内柵を最内に設置
2回 第7~10日	B	2,101.9m	525.9m	28~38m	Aコースから3m 外に内柵を設置
2回 第11・12日 3回 前4日	C	2,120.8m	525.9m	25~35m	Aコースから6m 外に内柵を設置
3回 後4日	D	2139.6m	525.9m	22~32m	Aコースから9m 外に内柵を設置

(2) 芝の状態

- ・野芝に洋芝（イタリアンライグラス）をオーバーシードした状態で施行します。
- ・第1回東京競馬終了後、野芝の生育を促進させる為の更新作業を行うと共に、開催で傷んだ箇所は蹄跡補修・洋芝追加播種・シート養生を行いました。芝の生育は概ね順調で、全体的に良好な状態です。
- ・第1回東京競馬終了後、芝馬場のクッション性確保のためエアレーション作業を実施しました。
- ・芝の生育管理のため、中間日に散水を実施します。

ダートコース

(1) 使用コース

1周距離 1899.0m 直線距離 501.6m 幅員 25m

(2) ダートコースの状態

- ・第1回東京競馬終了後、一部の路盤点検及び砂厚調整を行いました。
- ・クッション砂の砂厚は9.0cm（従来通り）で調整しています。
- ・乾燥が著しい場合は、競走馬の安全のため散水を行う場合があります。

障害コース

(1) 障害コースの状態

- ・野芝に洋芝（イタリアンライグラス）をオーバーシードした状態で施行します。
- ・第1回東京競馬終了後、野芝の生育を促進させる為の更新作業を行いました。野芝・洋芝共に順調に生育し、全体的に良好な状態です。
- ・第1回東京競馬終了後、クッション性確保のためエアレーション作業を実施しました。
- ・芝の生育管理のため、中間日に散水を実施します。

◎平成30年 第3回京都競馬の馬場概要（平成30年4月13日現在）

芝コース

(1) 使用コース

開催日	コース	1周距離		直線距離	幅員	備考
2回 前6日	C	(内)	1821.1m	323.4m	21～32m	Aコースから直線部7m、 曲線部6m外に内柵を設置
		(外)	1932.4m	398.7m		
2回 後6日	D	(内)	1839.9m	323.4m	18～29m	Aコースから直線部10m、 曲線部9m外に内柵を設置
		(外)	1951.3m	398.7m		

(2) 芝の状態

- ・ 野芝に洋芝（イタリアンライグラス）をオーバーシードした状態で施行します。
- ・ 第2回京都競馬終了後、損傷箇所には洋芝の追い播きを行い、保温効果のあるシートでコース内側の養生を行いました。野芝、洋芝ともに順調に生育し、概ね良好な状態です。
- ・ 芝馬場のクッション性確保のためエアレーション作業を実施しました。
- ・ 芝の生育管理のため、中間日に散水を実施します。

ダートコース

(1) 使用コース

1周距離 1607.6m、直線距離 329.1m、幅員 25m

(2) ダートコースの状態

- ・ 第2回京都競馬終了後、一部の路盤点検及び砂厚調整を行いました。
- ・ クッション砂の砂厚は9.0cm（従来通り）で調整しています。
- ・ 乾燥が著しい場合は、競走馬の安全のため散水を行う場合があります。

障害コース

(1) 障害コースの状態

- ・ 野芝でレースを施行します。
- ・ 第2回京都競馬終了後、蹄跡の補修を実施しました。野芝は順調に生育し、全体的に良好な状態です。
- ・ 芝馬場のクッション性確保のためエアレーション作業を実施しました。
- ・ 芝の生育管理のため、中間日に散水を実施します。